

電気自動車エコシステムの開発に関する ASEAN+3 首脳声明（概要）

- 公正なエネルギー移行と運輸部門における炭素排出削減は、各国の状況や経済成長への影響に応じて、ネットゼロ・エミッション／カーボン・ニュートラル／目標達成に向けた排出ゼロ車両（ZEV）など多様な道筋を許容すべきであるという共通の見解を共有。（前文）
- 2023 年 5 月に採択された「地域の電気自動車エコシステムの開発に関する ASEAN 首脳声明」で言及されている電気自動車エコシステムの開発を含む、運輸部門における炭素／温室効果ガス排出削減のための ASEAN の取組を支援する上で、中国、日本、韓国が重要な役割を担うことを認識。また、電気自動車の開発における協力と連携は、ASEAN+3 を越えて拡大されることが重要であると認識。（前文）
- クリーンエネルギーへの移行における重要鉱物の重要性の高まりと、重要鉱物の脆弱なサプライチェーンによって引き起こされる経済・安全保障上のリスクを防止するために、信頼できるサプライチェーンを構築する必要性を強調。また、開かれ、透明性の高いシステムを構築することを慫慂。（前文）
- ASEAN+3 各国が温室効果ガス排出を削減し、公正なエネルギー移行を加速し、多様な道筋を通じてネットゼロ・エミッション／カーボン・ニュートラルを達成する上での重要な手段の一つとして、かつ同時に、ASEAN+3 各国におけるエネルギー安全保障を向上させるものとして、電気自動車の開発を促進。（パラ 1）
- 多様な技術を通じて電力分野における排出削減を進めると同時に、電気自動車の普及に資する地域の電気自動車エコシステムの開発・情報交換を支援。（パラ 2）
- 電気自動車産業のバリューチェーンを強化し、貿易円滑化を促進し、相互運用性と国境を越えたシームレスなモビリティを確保するため、電気自動車エコシステムの基準策定における協力強化の措置や地域の規制の調和を慫慂。（パラ 3）
- 強固な電気自動車エコシステムを支えるため、バッテリーを含む電気自動車産業の世界的生産において、ASEAN が重要な役割を果たすことを支援。（パラ 4）
- 貿易の自由化と円滑化の促進、インフラと充電ステーションの改善、投資誘致のためのビジネス・投資環境の整備、中小零細企業の参画の強化、研究開発活動と人材育成における協力、最先端分野における協力、電気自動車の産業およびサプライチェーン開発への投資機会の促進と国民の意識啓発、国際的な電気自動車メーカーや電池メーカーと連携した技術移転の慫慂、環境への影響の適切な管理、エネルギー安全保障の強化、モビリティ分野における再生可能エネルギーの利用促進、従来の内燃エンジン車から排出ゼロ車両（ZEV）への段階的な転換に向けた円滑な移行に関する公正かつ効果的な政策立案、より強靱な電気自動車のサプライチェーンの構築、資金調達課題への取組等、電気自動車エコシステムの開発に関する協力を模索。（パラ 5）
- 地域の電気自動車エコシステムを推進するため、民間セクターとの協力、パートナーシップ、関与を促進。（パラ 6）